

朝の礼拝

聖書 イザヤ書 40 章3～5 節 (旧約聖書 1123 頁)

- 3 呼びかける声がある。  
主のために、荒れ野に道を備え  
わたしたちの神のために、荒れ地に広い道を通せ。
- 4 谷はすべて身を起こし、山と丘は身を低くせよ。  
険しい道は平らに、狭い道は広い谷となれ。
- 5 主の栄光がこうして現れるのを  
肉なる者は共に見る。  
主の口がこう宣言される。

私には夢がある

第二次世界大戦の頃、多くのアメリカ兵士がヨーロッパの戦場へ送られました。ドイツの侵略とユダヤ人への差別、虐殺に対して戦ったのでした。しかし、戦場から帰国したアフリカ系アメリカ人兵士の中から「アメリカの国内にも有色人種への差別があるではないか」という疑問が広がりました。そして自分たちも白人と同じように選挙に参加し、同じレストランで同じ席につき、同じ学校へ通いたいという願いが広がったのでした。

1963年8月28日、ワシントンD.C.のワシントン記念広場に人種差別撤廃を訴え、自由と平等を求める約20万人の人々が全米から集まったのでした。その時、100年前に奴隷解放宣言をしたリンカーン大統領の巨大な座像の前で、公民権運動の指導者であったキング牧師が有名な“ I have a dream ” という演説をしました。

「絶望の谷間でもがくことをやめよう。  
友よ、今日私は皆さんに言っておきたい。  
われわれは今日も明日も困難に直面するが、それでも私には夢がある。  
それは、アメリカの夢に深く根ざした夢である。

私には夢がある。それは、いつの日か、ジョージア州の赤土の丘で、かつての奴

隷の息子たちとかつての奴隷所有者の息子たちが、兄弟として同じテーブルにつくという夢である。

私には夢がある。それは、いつの日か、私の4人の幼い子どもたちが、肌の色によってではなく、人格そのものによって評価される国に住むという夢である。

今日、私には夢がある。

私には夢がある。それは、邪悪な人種差別主義者たちのいる、州権優位や連邦法実施拒否を主張する州知事のいるアラバマ州でさえも、いつの日か、そのアラバマでさえ、黒人の少年少女が白人の少年少女と兄弟姉妹として手をつなげるようになるという夢である。

今日、私には夢がある。

私には夢がある。それは、いつの日か、あらゆる谷が高められ、あらゆる丘と山は低められ、でこぼこした所は平らにならされ、曲がった道がまっすぐにされ、そして神の栄光が啓示され、生きとし生けるものがその栄光を共に見るようになるという夢である。」

この演説から24年後、私はアメリカ合衆国が自由で平等な国だと信じて留学しましたが、現実はそうではありませんでした。しかし互いを敬い、互いの思いに耳を傾け、チャンスが与えられると信じ祈り続けている人々がいました。

キング牧師は差別と偏見にも諦めず、冒頭にお読みしたイザヤ書の一節に励まされ、幼い子どもたちが兄弟姉妹として手をつなげる日が来るのを祈り続けたのでした。神様は私たちひとり一人に夢を与えられます。どんな挫折や失敗があっても、神様は祈りに始まり、祈りに終わる一日一日を通して励まし続けられるのです。

しばらく黙祷しましょう。

祈禱 祈りましょう

私たちを愛し、励まされる主よ。

あなたは聖書を通して差別と偏見に苦しむ人々に夢を与え、祈りを通して励まし続けておられます。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、あなたの祝福のうちに歩ませて下さい。

主イエス・キリストの御名によってお願い致します。アーメン